

第3回定例会  
決算で質問しました

# 難聴者への補聴器購入費助成

## “補聴器は高額” 「4万円では足りない、倍にして」と要望



日本共産党  
よっちゃん通信  
2025 10/5 274号

9月24～26日、決算特別委員会が開かれました。

私、宮坂良子は「難聴者への補聴器購入費助成を倍にして」と要望しました。

この助成制度は、10余年求め続けていたものが、昨年初めて実施されました。

24年度 57人が利用

制度が発表されすぐに、問い合わせなどが入ったそうです。予算はたった25人分でしたが、実際は予算も流用し、57人が利用できました。それだけ待ち望んでいた方が多かったわけです。

片耳でも20～30万円

しかし、補聴器は片耳だけでも20～30万円もします。両耳では40～50万円もかかります。とても高くて4万円の補助ではあきらめる人も出ています。

私は、都の補助金が1／2の出ていること、上限額も14万4900円もなったことを紹介しながら、せめて倍額に引き上げてほしいと要望しました。

市は「補聴器が高額であること

は認識している。補助上限額の見直しは、現時点では考えていません。今後も都の動向や近隣市の状況に注視していく」と答えました。

### 利用方法

- 1、市の窓口、あいとびあ、地域包括で申請書をもろう
- 2、申請書に必要事項を記入し、補聴器相談医がいる医療機関を受診
- 3、市が指定する販売店で相談し、補聴器を選んで、調整・試聴を行ない、決定したら見積書を作成してもらう。
- 4、市へ見積書を提出
- 5、審査の結果、市より「交付決定書」、「支給券」が送られてくる
- 6、支給券を持って販売点で購入

\*対象は非課税、所得210万円以下の方です

\*詳しくは市のホームページをご覧ください。

耳鼻科で診てもらうと片耳が30デシベル。調布の販売店で補聴器を選ぶ。3カ月間着用し10日ごとに丁寧に感想を聞き調整してくれることに。聞こえるようになるのはうれしい！

